



平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に緊急消防援助隊出動

応急対策室

1 はじめに

平成20年6月14日(土)午前8時43分頃、岩手県内陸南部においてマグニチュード7.2の地震が発生し、大きな被害が発生しました。

岩手県知事及び宮城県知事からの応援要請を受け、直ちに17都道県に対し緊急消防援助隊の出動を求め、最大時204隊825名が出動し、相互に連携した救援活動が行われました。

緊急消防援助隊としては、平成16年新潟県中越地震に次ぐ人員規模の出動となり、消防庁からも緊急消防援助隊調整本部要員を含め、16名の職員を岩手県・宮城県に派遣しました。

2 地震の概要

| | |
|-----------------|--------------------|
| 発生時刻 | 6月14日(土)午前8時43分頃 |
| 震央地名 | 岩手県内陸南部 |
| 震源の深さ | 約8km |
| 地震の規模 | マグニチュード7.2 |
| 各地の震度 (震度6強) | 岩手県：奥州市 宮城県：栗原市 |



栗原市荒砥沢大規模崩落現場 (仙台市消防局航空隊撮影)

3 被害の状況

この地震により、死者13名、行方不明10名、負傷者449名が発生するなど大きな被害が発生しました。平成20年7月17日現在の被害の概要は、次のとおりです。

(平成20年7月17日現在)

| | 人的被害 | | 住家被害 | |
|------|------|------|--------|--|
| 死者 | 13名 | 全壊 | 23棟 | |
| 行方不明 | 10名 | 半壊 | 69棟 | |
| 負傷者 | 449名 | 一部破損 | 1,122棟 | |
| | | 火災件数 | 4件 | |

4 緊急消防援助隊等の出動状況

(1) 派遣期間

岩手県：6月14日から17日(4日間)

宮城県：6月14日から19日(6日間)

(2) 部隊配備

| 派遣先 | 岩手県 | 宮城県 |
|-----|--|--|
| 出動隊 | 【9都道県】 北海道、青森県、秋田県、福島県、茨城県、栃木県、東京都、神奈川県、新潟県 | 【12都県】 宮城県(指揮支援隊)、秋田県、山形県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、富山県、石川県、山梨県 |

※秋田県、福島県、新潟県及び東京都は双方の県に出動しているため、両県合計は重複を除く17都道県

(3) 緊急消防援助隊活動状況

各地で道路が寸断されているため、航空部隊を中心に、岩手県奥州市、一関市及び宮城県栗原市において、陸上部隊及び県内応援消防機関等と連携しながら情報収集活動、救急・救助活動などを行い156名を救出(主に航空部隊の活動によるもの149名、主に陸上部隊の活動によるもの7名、県内消防機関等と協力して行ったものを含む)。



湯浜温泉救助活動 (仙台市消防局撮影)

- ① 消防防災ヘリコプターの活動状況
6日間 延べ63機 救助人員149名
- ② 救助活動例

| 部隊 | 活動場所 | 活動内容 |
|----|------|---------------------------|
| 航空 | 奥州市 | バス転落災害の乗客3名を救出 |
| | 一関市 | 祭時(マツルベ)にて孤立者53名を救出 |
| | 栗原市 | 岩鏡平(イワカガミダイラ)にて33名を救出 |
| 陸上 | 栗原市 | 駒ノ湯土石流現場にて5名を救出(死亡確認) |
| | 栗原市 | 花山本沢水無土砂災害現場にて2名を救出(死亡確認) |

5 おわりに

今回の出動は、平成7年6月に緊急消防援助隊が創設されてから21回目の出動となりますが、初めて緊急消防援助隊が複数県(2県)に対して出動した災害であり、そのような中で、消防庁、緊急消防援助隊調整本部等及び応援消防機関が相互に連携して、被害状況に応じた部隊配備や早期の航空部隊の大量投入等を行うことができました。

その結果、地震災害の初期の段階から人命救助のため、極めて有効で多岐にわたる活動がなされました。

今後とも、消防庁といたしましては、緊急消防援助隊がよりの確で迅速な出動及び活動が行える体制の確立に努めてまいります。

最後に、岩手県及び宮城県の被災地の方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。